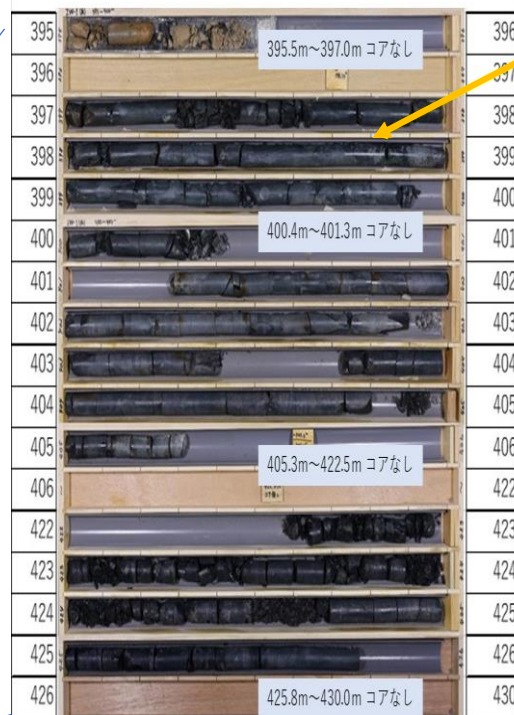
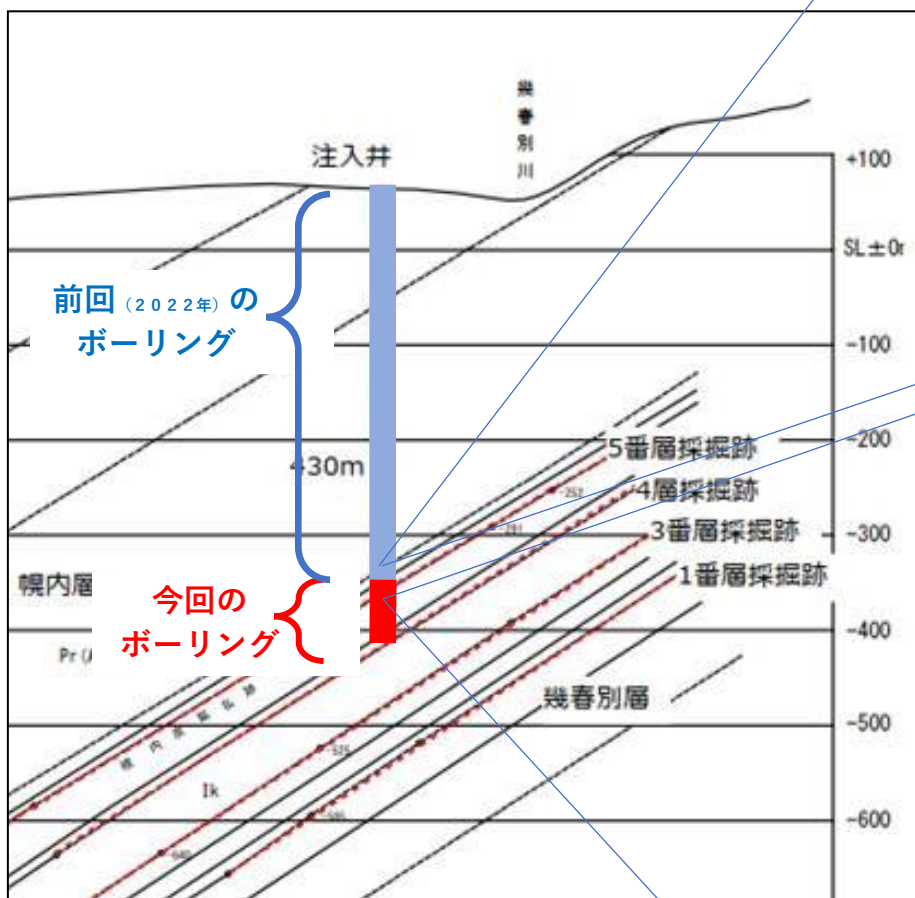


# CO<sub>2</sub> 地下固定化実証試験

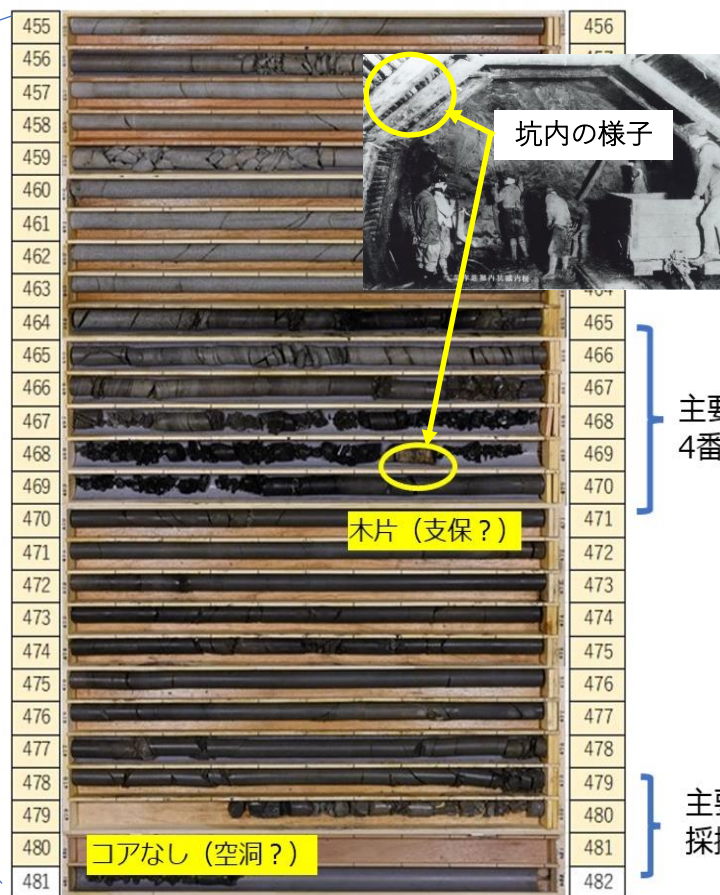
10月4日から8日にかけて、三笠市弥生双葉町において地下480mの石炭採掘跡に二酸化炭素を貯留する実験を行いました。

実験では、二酸化炭素をマイクロバブル水（炭酸水のようなもの）とコンクリートのよう固まるスラリーの2種類の方法で地下に貯留しました。



2年前に注入し固化したスラリー

ボーリングにより採取した岩石（コア）



2年前（2022年）には地下430mまでボーリングし、今回と同様に実験を行っています。今回同じ井戸を掘り下げたことから、前回入れたスラリーが固まったものを採取することができました。実験の成果は未利用エネルギー活用フォーラムで発表予定です。（来年3月頃）

実験の様子→  
左からマイクロバブル水製造装置、スラリー材料サイロ、見学会



ぜひ実物をご覧ください↓↓